

令和4年度自己評価結果公表シート

学校法人 進修学園

幼保連携型認定こども園 進修幼稚園

1. 進修学園 基本理念

- ① 子どもファーストの開かれた幼稚園として、安全で質の高い教育・保育を提供する。
- ② 専門家としての責任と使命を自覚し、人間性豊かな教諭、保育士をめざす。

2. 本園の教育目標

幼児の主体的な活動としての遊びを十分に確保し、遊びから学びへとつながるよう配慮し、探索し思考する過程を大切にした教育を目指している。そして、幼児期にふさわしい生活が展開されるように、教師との信頼関係に支えられた生活、興味や関心に基づいた直接的な体験が得られる生活、友達と十分にかかわって展開する生活

がなされるように配慮した幼児教育を目指している。

- ① のびのび 心も身体ものびのびと、自己肯定感のある子
- ② きっちり 挨拶・マナー・けじめのある態度ができる子
- ③ かしこい子 感じる・考える・意欲をもって取り組める子

以上をスローガンとし、人として生きる力の基礎を培っている。

3. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

幼保連携型認定こども園として5年目を迎え、こども園としてのニーズに応えるべく、本園としての中・長期のビジョンを明確化し地域に根ざした教育保育施設として質の高い教育・保育を提供したい。

4. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
教育課程の編成・実施に関して、教職員間の共通理解をはかる。	子どもの実態に即した教育課程のあり方を考え、実際の保育の中に具体的にどのように位置づけるかを職員間で話し合っている。
園の状況を踏まえて、中・長期的なビジョンと計画を策定する。	認定こども園としての役割を果たすとともに、これから教育と保育に必要な環境を踏まえつつ、園の独自性・教育理念を大切に、地域に必要とされる教育保育施設としてのビジョンや計画を策定している。

子どもが主体的かつ意欲的に園生活を送るための、援助の在り方について、共通理解する。	幼児の発達の様子を捉えるため、日々の子どもの姿について話し合う機会を職員間で持つようにし、共に意見が開示できる環境をつくっている。
保護者のニーズの把握につとめ、要望や相談に応じていく。	保護者との懇談会を定期的実施するとともに、施設関係者評価委員会を実施する。
苦情に適切な対応をはかる。	委員会を実施。出された意見に対して、必要なものについては園の考え方を示し、改善すべきものは改善するように取り組む。

5. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

取り組むべき課題について、全教職員が共通に理解し、子どもの成長を保護者の方と共有できた。本園としての方針を大切に、今後も園全体の質、職員の質の向上につながるよう、職員内での話し合い、共通理解を深めていきたい。

6. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
安全管理	いつ起こりうるかわからない大地震や災害に備えて、施設面での対応と、教員の意識づけ、並びに危機管理マニュアルの作成を常に見直したい。
特別支援教育	幼児に対応した個別の指導計画の作成を検討するとともに、保護者、医療・福祉の関係機関との連携を密に取るように検討したい。また、小学校との連携にも十分に努めたい。

7. 学校関係者の評価

昨年度の学校評価委員会において、特に指摘すべき事項はなく、妥当であると、認められる。

8. 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。